

(様式第5号)

## 調査研究追跡調査報告書

調査研究課題	小児の重症呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析
研究期間	平成28年度～30年度 3年間
目的	小児の重症呼吸器感染症患者を対象にウイルス遺伝子の網羅解析を行い、重症呼吸器感染症に關与しているウイルスの実態と本疾患の原因となるウイルスの詳細なゲノム情報を明らかにする。
成果の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・入院を伴う小児の呼吸器感染症患者75人中70人(93.3%)からウイルス遺伝子が検出されたことから、小児呼吸器感染症の多くはウイルスが關与していることが示唆された。</li><li>・また、HRVとRSVが多く關与していることが示唆された。</li><li>・ウイルスと細菌の重複検出事例は、重症度スコアも高く、入院日数も長いことから、重症度に影響を与えていることが推測された。</li><li>・しかし、検出された細菌については、保菌状態か感染状態かの判断は困難であり、特定することはできなかった。</li></ul>
成果の普及・活用のために行われた活動等の実績	<p>【学会発表等】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・第20回茨城県小児感染症研究会(2017年11月)</li><li>・平成30年度(第33回)関東甲信静支部ウイルス研究部会(2018年9月)</li><li>・茨城県職員臨床衛生検査技師会学術研修会(2018年12月)</li><li>・平成30年度茨城県衛生研究所(いばらき予防医学プラザ)調査研究業績発表会(2019年2月)</li><li>・令和元年度保健と福祉の事例発表会(2020年2月)</li></ul> <p>【成果集】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・県立試験研究機関等の成果集(2019年10月)</li></ul>
普及・活用の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・医療機関からの問い合わせに対して、研究成果を用いた情報提供を行った。</li><li>・今後は茨城県衛生研究所年報への掲載および茨城県衛生研究所のホームページに掲載する予定である。</li></ul>
備考	

## 追跡評価結果報告書

令和 2年11月24日

調査研究課題		小児の重症呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析	
評価項目	評価	意見	備考
①成果の普及・波及効果	5, 5, 5, 5, 5, 4, 4  平均評価点 4.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児の重症呼吸器感染症は多彩な病原体が關与し、その原因を究明することは重要であり、本研究の意義は極めて高い。</li> <li>小児科領域では貴重な結果が得られており、保健衛生上、行政施策上貢献度の高い結果である。</li> <li>医療機関からの問い合わせに対して研究成果に基づいた情報提供を行うなど、成果の普及・波及効果が認められる。</li> </ul>	
②成果の普及・活用方法	5, 5, 4, 4, 4, 4, 4  平均評価点 4.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>方法論も含め適切である。</li> <li>患者から多く検出されるウイルス、ウイルスと細菌の重複感染等の情報は、医療機関に重要と考えられる。</li> <li>学会発表、成果集の公表など、研究成果の積極的な普及、活用の取り組みが認められる。</li> <li>機関紙に投稿していたが、できれば学術雑誌への投稿が望まれる。茨城県内のデータではあるが、患児の臨床情報、ウイルス遺伝子の系統樹解析、細菌との重複感染等の貴重な情報が含まれ、広く公開すべき成果である。</li> </ul>	
③総合評価	5, 5, 5, 5, 4, 4, 4  平均評価点 4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児の重症呼吸器感染症に HRV と RSV ウイルスが關与し、さらにウイルスと細菌の重複検出と重症度に相関が見られることを明らかにした点で評価できる。</li> <li>保菌後のウイルス感染により重症化したのか、ウイルス感染後に細菌が感染したために重症化したのか、判断がつかないことは、本調査方法では困難だったと理解できる。いずれにしても、ウイルスと細菌の重複感染が重症化に關与するという点なので、病原体の検査や抗菌薬の処方について、貴重な結果であると評価できる。</li> <li>詳細な検討がなされ、明らかに出来たことも多かった点で評価できる。検出された細菌が、保菌状態か感染状態か判別困難なので、別疾患で通院または入院している小児の保菌状態のデータが入手できるとよいのではないかと。</li> </ul>	

評価点 1 : 不良      2 : やや不良      3 : 普通      4 : やや良好      5 : 良好